

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム いやし屋本舗

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 09 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	地域福祉事業の拠点を目指し、行政や、地域住民と協働で、介護相談事業や地域行事に、準備段階から参加し、協力体制を構築していく。	職員が、積極的に地域の行事や会議に参加し、協力し、ホームの知識を活かして、高齢者の悩みや相談事を積極的に聴き取り、行政と協力して、解決に向けた支援を実施し、地域との信頼関係を深めていく。	12ヶ月
2		職員の質の向上と質の確保	職員の技術力の差を出来るだけ解消し、どの職員が、利用者を介護しても、同じサービスの提供が出来、利用者や家族から満足してもらえるように努力していく。	職員の経験や習熟度、資格等を考慮し、外部研修に交代で派遣し、意識の高揚と、介護力を身に付けて、内部勉強会で報告し、職員全員が知識を共有し、介護力を付けていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。